



白桃発祥のまち

あかいわ



市長定例記者会見

令和8年8月31日(月) 10時～

令和8年9月議会定例会補正予算案

全会計合計で、歳入歳出それぞれ

- 2億6,060万6千円を追加
- 総額407億5,337万8千円(前年同期2.3%増)

うち一般会計は、歳入歳出それぞれ

- 3,407万8千円を追加
- 総額245億7,944万5千円(前年同期3.7%増)

令和8年9月議会定例会補正予算案

■主な事業概要(令和8年度赤磐市一般会計補正予算(第4号))

・保育園の運営に係る費用 2,272万1千円

事業内容:さくらが丘こども園整備に係る国庫補助金の要綱改正による基準単価の増額

私立保育園等給食支援に係る補助額単価改定による補助額増額

乳児等通園支援事業に係る給付費計上

・デマンド型市民バスの運行経費 1,513万6千円

事業内容:タクシー運賃と最低賃金の改定及び利用者増加による経費増額

・一般社団法人設立に係る費用 1,053万8千円

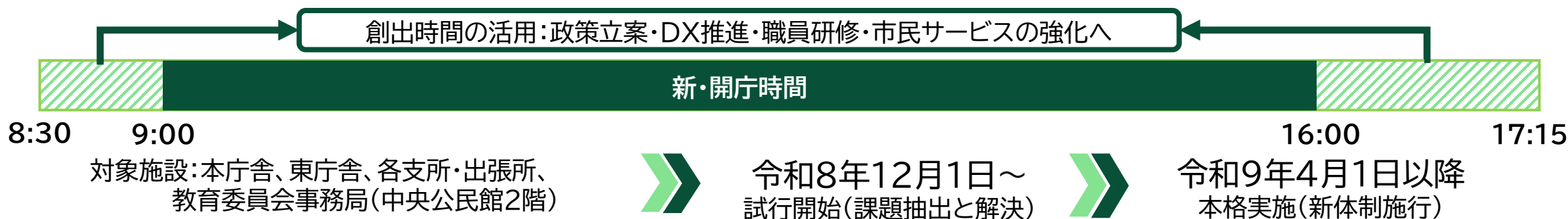
事業内容:農村振興に係る一般社団法人設立及び運営に係る経費を計上

開庁時間の短縮

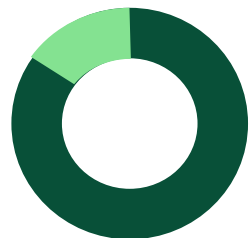
開庁時間の最適化：午前9時から午後4時まで

市民サービスの質の向上と職員の適正な労務管理の両立を目指し、創出した時間を「市民サービスの質の向上」へ再投資します。

【変更の概要とスケジュール】



調査結果



84%

来庁者の約84%が「9時～16時」のコアタイムに集中

2.1倍

コンビニ交付率は倍増
令和4年度（15.1%）から
令和7年度（31.1%）へ着実に増加

期待される効果



時間外勤務の削減

時間外勤務（昨年度61,000時間）を大幅に削減し、人件費等の行政コストを抑制適正な労務管理を実現

高付加価値業務への再投資



確保した時間を市民への丁寧な個別支援、政策立案、DX推進へシフト

市民の安心材料



「窓口は閉めても電話はつながる」

- ・窓口対応は16時で終了しますが、電話対応は現行通り（8:30～17:15）継続します。
- ・試行期間中は、月曜日（固定）の開庁時間を現行通り（8:30～17:15）とします。

※桜が丘出張所の休所日（水・土曜日）及び日曜日の受付時間（10:00～15:00）に変更はありません。

窓口時間を補う「オンライン手続き」の拡充と利便性向上

持続可能な次世代型市役所へ ～いつでも・どこでも・簡単に～

オンライン化のメリット

来庁不要で24時間申請可能

開庁時間内に来庁できない方でも、スマートフォンやPCから都合の良い時間に各種手続きを完結できます。

市役所での手間を削減

多くの手続きがネットで完結するため、市役所への往復や窓口での長い書類記入や順番待ちの負担を軽減できます。

対面サポートの充実へ

業務効率化で生み出した時間を、市民サービス向上へ向けた準備時間に充当します。

手続きのオンライン状況(37件)

カテゴリ/手続き数	主な対象手続き例
子育て/15	児童手当認定請求、保育施設申込、給付金申請等
介護/11	要介護認定申請、負担限度額認定申請等
被災者支援/1	罹災証明書発行
生活/2	転出届・旅券申請
行政/8	図書貸出予約、水道開栓・閉栓届、講座イベント等の申込、職員採用試験申込等

今後の重点推進施策

時間・場所を選ばない行政アクセス

オンライン申請の拡充: 電子申請を利用したオンライン申請による補助金などの申請手続きの拡充

マイナンバーカード活用: 公的個人認証によるオンライン申請の広報活動

コンビニ交付の推進: 各種証明書発行を身近なコンビニでスムーズに完結

公共施設予約のオンライン化: 24時間いつでもどこでもスマホやPCから空き状況の確認と予約

窓口サポート体制の強化: スマホ操作に不安がある市民へ窓口で丁寧な手助けを実施

コンビニ交付手数料10円キャンペーン

マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用を促進し、住民の利便性向上を図るため、期間限定で一律10円とするキャンペーンを予定しています。

○ キャンペーン期間 令和8年12月1日～令和10年3月31日

○ 対象となる証明書

種 類	手 数 料	
	窓口交付	コンビニ交付
所得課税証明書	300円	10円
住民票の写し		
印鑑登録証明書		
戸籍の附票 ※		
戸籍の証明書 ※	450円	



※赤磐市に本籍があり、住所が市外の方は、あらかじめマルチコピー機などで「戸籍証明書交付の利用登録申請」が必要です。

農村振興法人の設立

<目的>

第3次赤磐市総合計画に基づき、農業の諸課題における、地域のニーズに対応することで赤磐市の農業振興、農地の有効利用に寄与することを目的に事業を展開する。

<法人の概要>

法人の形態

一般社団法人

設立時資金

約1,400万円

参画予定企業等

赤磐市、晴れの国岡山農業協同組合、全国農業協同組合連合会
岡山県本部、青空株式会社、シーアール物流株式会社



<当初予定事業>

○ 相談窓口

○ 農地の保全管理のための作業受託(耕起・整地・草刈り等)

○ 中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金の事務受託

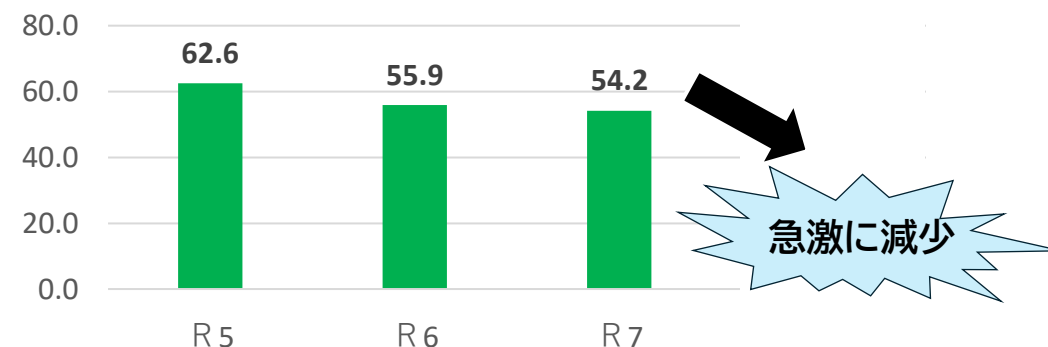


財政強化に向けた取組

▶現状

一般会計の財源調整のため、財政調整基金（一般家庭でいう「貯金」）を取崩しながら財政運営を行っています。物価高騰、公共施設老朽化による修繕費の増加などにより、今後も歳出の増加が見込まれます。

財政調整基金残高（億円）



▶将来にわたって必要な行政サービスを維持するために取り組む内容

- ・施設の最適化（人口減少、利用状況を考慮した数や規模の最適化）
- ・公共施設の使用料など、各利用料金等の見直し
- ・すべての事業を改めて点検し、その必要性や効果を確認

▶目標

◎令和11年度一般会計決算時に財政調整基金に頼らない財政運営ができていること